



長野市男女共同参画情報紙「With You」は、男女共同参画社会づくりに向け、年に3回、市民編集委員が様々な視点から情報を発信しています。今回は、令和元年度優良事業者賞を受賞された高木建設株式会社様取材しました。



令和元年度「優良事業者表彰式」

### 令和元年度 長野市男女共同参画優良事業者ご紹介

## 高木建設株式会社様 受賞

令和元年度は、土木・建築業を営む高木建設株式会社様を受賞しました。その取組について、常務の高木亜矢子さん、営業部課長の西沢君江さん、総務部主任の吉田京子さん、営業部の小林明日香さん、建築部の保科百花さんの5人にお話を聞きました。

#### 女性がいきいきと働く職場に

—女性活躍を推進しようと思っ  
たきっかけを教えてください。



高木常務

高木：業界の会議や研修に行く  
と、ほとんどが男性でもっと女  
性が入って来てくれたらなと感  
じたのがきっかけです。

男性だけでなく、女性も採用  
したいと、就職説明会には積極  
的に私が行くようにしています。  
—常務みずから女性の採用に力  
を入れている。だから土木や建築  
の技術職に女性が来てくれるの  
ですね。保科さんもそうですか？

#### 《優良事業者選定理由》

- これまで女性が少なかった職域に女性を登用していること。
- 仕事と家庭(子育て、介護等)と両立しやすい休暇制度が充実していること。



保科さん

保科：はい、そうなんです。女  
性がいると話しやすく、足が運  
びやすかったです。

—保科さんは技術職ですね。仕  
事のやりがいはあるかなことす  
か？

保科：現場で何もないところか  
ら大きいのがみんなの手で出  
来上がっていくところにやりが  
いがあります。どんどん出来て  
いく姿が見られて、楽しくて仕  
方ありません。

—仕事のことを友達と話しま  
すか？

保科：「建設現場で監理の仕事  
をしている」と、友達に話すと  
「すごい」と言われます。

一緒に働いている方も優しく  
接してくれます。就職活動を  
している友達にも勧めたいです。  
私が楽しく働いていることは友  
達にも伝わっていると思います。  
—目標はありますか？

保科：弊社は、業界でも珍しく  
女性の1級建築士が2名います。  
私も1級建築士になりたいです。  
今は2級建築士の取得を目指し  
て頑張っています。

—通常の緑色の社旗の他に「ピン  
ク色の社旗」があると聞きました。



女性が働いている現場で掲げられている社旗

高木：ひとりでも女性が活躍している現場はピンク色にしたらどうかと社長が発案しました。

小林さんは営業担当ですが、苦勞したことはありませんか？

小林：入札会場にはほぼ男性しかいません。それに他社の担当者は仕事ができそうに見えてはじめは不安でした。

女性が場に一人いるだけで、雰囲気や和ませることができず、接客を専門学校で勉強してきたので、そのスキルを生かせると思いません。「女性は珍しい」と名前も覚えてもらえます。営業はまず顔と名前を覚えてもらうことから始まります。だから今は、私だからこそできることがあると思います。女性の強みと自分の強みを生かして頑張っています。



小林さん

「健康経営の推進」にも積極的に取り組まれていますね。そのことを聞かせてください。

吉田：「健康経営の推進」は常務が率先して取り組んでいます。社員のことはもちろんですが、社員の家族に対しても気を配っています。

「協会けんぽ」の「ウォーキン



吉田さん

グ・ラリー」を会社全体で取り入れるなど、一人ではなかなかできないことを社員でチームになって、競いあいながら、健康に良い事にも取り組んでいます。

### 男性社員も「ぜひ取得して」

育児休業や介護休業を取得している男性社員の方がいると聞きました。そのことを聞かせてください。

高木：両立に悩みながら仕事をしているよりも、きちんと休業制度を利用して、「仕事は仕事。家庭は家庭。」に専念してもらった方が効率的であり、安全面でも良いと思います。建設業は危険な現場もありますから。

育児休業や介護休業制度など制度を変更する時はいかがでしたか？

吉田：常務を中心に「制度が変わるので皆さん活用してください」と全社員に向けて奨励したので、男性の社員も家庭に関わりやすい感じになりました。

男性の意識も変化したという事ですか？

西沢：就業規則が変わることに

みんなの意識も変化したというか、男性の社員も含め、家庭の事情で休みは取得しやすくなりました。

「親を病院に連れていきたいから遅刻したい」とか、「新型コロナウイルスの影響で、子供の面倒を見なくてはならないので早退したい」と、様々な事情でお休みを取得しています。

吉田：営業部の休暇取得率は増えました。しかし現場の社員はまだ難しいです。希望通りに取得できない時もあります。



西沢さん

西沢さんが入社した頃と比べて働き方は変わりましたか？

西沢：会社の後押しもあり、働き方の選択肢が多くなったと思います。家庭の事情で仕事を諦めなくてもよくなりました。以前は、女性は「仕事をする」か「家庭に入るか」の二つの選択しかありませんでした。今は「仕事をしながら家庭も大切にできる」という選択肢が増えて、考え方が広がったと思います。

保科さんは仕事と家庭についてどう考えていますか？

保科：将来、結婚して子どもが

生まれたら育児休業を取得して家事や育児を夫婦と一緒にやっていけたら嬉しいです。弊社のように、仕事も仕事以外の時間も大切にしてくれる会社で働いている人が夫ならいいと思います。

### 社員の幸福度を上げたい

活躍する女性が増えるために、どのようなことが必要だと思いますか？

小林：女性はプライベートや仕事など、生活環境がいろいろ変化します。仕事から一旦離れても戻って来られることや、在宅で仕事ができることなどの働き続けられる条件が必要だと思います。条件が整うことで今より活躍する女性は増えると思います。

これから先、会社が目指していることを教えてください。

高木：まずは創業100年を迎えることが目標です。そのため社員のやりがいとか幸福度をもっと上げたいと思います。仕事だけではなく、ボランティアなどいろいろな経験をしてもらいたいと思います。

健康でいないと幸福度も上がりません。心と身体を管理しながら、仕事も家庭も大切にして創業100年を迎えたいと思います。

国際ソロプチミスト長野一みすず様より、男女共同参画啓発事業のため、

- 非接触式体温計
- 折り畳み式パーテーション(間仕切り)

を寄贈していただきました。

お問い合わせ

## 長野市男女共同参画センター

〒380-0814 長野市大字鶴賀西鶴賀町1481-1

☎026-237-8303

Eメール/ danjo-c@city.nagano.lg.jp

https://www.city.nagano.nagano.jp/



高木建設の社員構成

社員82名(うち女性12名)

女性の内訳：技術職4名、営業職1名、事務職6名、役員1名 (令和2年7月30日現在)